

令和7年度 学校関係者評価シート(年度末評価)

令和8年3月9日

広島城北中・高等学校

評価項目	評価	理由・意見
目標, 指標, 計画等の設定の適切さ	A	・適切である。
目標の達成状況の評価の適切さ	B	・満足度をどのように測っていくか、アンケート項目を工夫する余地はある。
目標達成に向けた取組の適切さ	B	・具体的取り組み、方策をより「見える化」する必要がある。 ・全体が共通理解できるようにスローガンなども工夫されるとよい。
評価結果の分析の適切さ	B	・分析は概ね適切であるが、判定不可能なもの(N)をなるべく減らすようにしてもらいたい。
今後の改善方策の適切さ	B	・全体的に適切であるが、その後の方策をより具体的に示してもらいたい。
総合評価	B	・全体的に適切な評価がされている。外部へのアピールをしてほしい。

A:とても適切である/B:概ね適切である/C:あまり適切でない/D:まったく適切でない/N:判定できない

学校関係者評価委員会（質問、意見等まとめ）

- 自転車の交通違反等については、今後青切符が導入されることもあり、気を付けなければならない点が多くある。学校としては何か対策をしているか。
— 新入生を迎えたタイミングで、年度初めの全校集会で啓発活動を行う。生徒会の生徒が中心となって準備をしている。
- 学力の向上に向けてどんな取り組みをされているのか。「達成目標」に対して「評価指標」があるのはもちろんだが、その目標を達成するために行っている「取り組み」は何なのか。当然日々の教育活動の中で実践されているが、これが城北だというものをもっと外にアピールしてもよいのではないか。「評価指標」の横に具体的な「取り組み」を示す欄があってもよいのではないか。できる項目とできない項目はあるだろうが、全員が「共通理解」するためには有効な手段であるように思う。数字やデータも大事だが、目標達成のために何をしたのか、言葉で全員が共通理解できるものがあるとより明確になるのではないか。
- 城北は手厚い指導をされている。先生と生徒との距離が近くいろいろな活動をされていると思うが、例えば面談をどれくらいの頻度で行っているか、ということもその1つ。取り組んでいる教育活動を外部に示さないのはもったいないように感じる。
- 地域とのかかわりについてはもっと多くてもよい。近隣の小学校にも城北生が来てくれて、近所の方々からの評判はよいので、こういった交流を今後もぜひ継続してもらいたい。